



「隣接性」による建築や都市空間のデザイン

工学系・工学領域

長田 直之

教授

NAGATA Naoyuki

工学士(建築学)(福井大学)

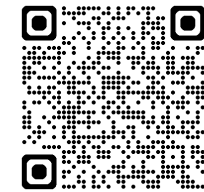
■研究キーワード 建築設計 / 都市デザイン

■主な所属学会 日本建築学会 / 日本建築家協会

■研究者総覧 <https://koto10.nara-wu.ac.jp/profile/ja.f6987eeeafd0ab5e520e17560c007669.html>



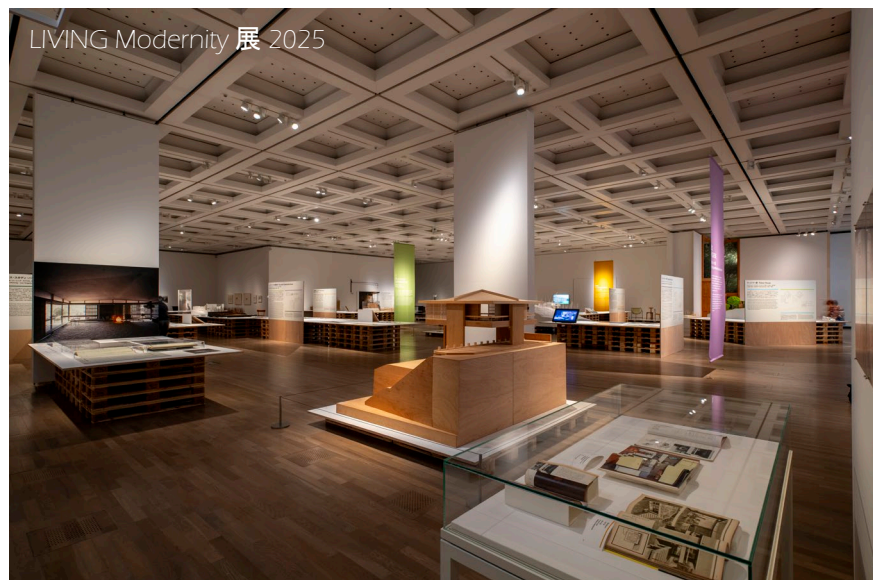
Nara Women's University



研究者総覧

研究概要

都市の建築を考える
単体としての建築ではなく、都市建築としての建築を研究しています。
機能やビルディング・タイプによる規範としての建築ではなく、
アクティビティやプログラムが混在し、周辺の環境につながるような
建築のあり方を探求しています。



アピールポイント

1.近現代建築についての分析
近現代の建築の空間構成についての分析を、模型や図面・スケッチまどから分析します。24年度は、ブラジルの女性建築家リナ・ボ・バルディの『Cada de Vidro』を1/30で制作し、環境と建築のつながりを再読しました。この模型は、国立新美術館で開催される『LIVING MODERNITY』展に展示されました。

2.集合住宅のデザイン
住居の供給システムから、それぞれの住居と外部空間、さらには街とのつながりについて、都市建築としての集合住宅を「隣接性」という視点から設計手法を研究します。

3.UDCU(アーバンデザインセンター宇治)
宇治のまちづくりUDCUへの参加をとおして、個々の建築だけでなく、アクティビティの集積としての中宇治を研究・実践します。

4.都市と美術の空間デザイン
美術館をはじめとして、都市と美術のつながる空間のリサーチや実践をとおして、インタラクティブな都市空間についての研究や実践を行います。

